

令和3年(2021年)12月1日
財務部財政課

債券運用戦略(素案)に関する意見募集の結果について

令和3年(2021年)10月22日～11月11日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

(1) 集計結果

(1) 提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数(人)	意見件数(件)
1	郵便		
2	ファクシミリ	1	3
3	電子メール		
4	所管課への直接提出		
5	その他		
	合計	1	3

(2) 市民等の区分別人数

	市民等	提出人数(人)	意見件数(件)
ア	市の区域内に住所を有する者	1	3
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等		
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者		
エ	市の区域内に存する学校に在学する者		
オ	市税の納税義務者		
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの		
	合計	1	3

(2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	(仮称) 債券運用戦略(素案)について	<p>豊中市の財政運用に関わる重大な内容は、まず議会にかけて論議し市民の率直な意見も十分取り入れて、その後、市長として素案を出すべきものではないでしょうか。</p> <p>パブリックコメントのみで決定は、市民と共に歩む行政とは思えないのですが。</p>	<p>この『債券運用戦略』は基金の運用という行政内部の業務の進め方の基本的な考え方を定めるものであり、まずは行政の責任において決めるべき事項と考えております。その中で、広く市民のご意見を取り入れるために、「豊中市意見公募手続に関する条例」に沿ってパブリックコメントを実施しておりますので、ご理解をお願いします。</p>
2	第1章 策定の目的	<p>「本市の取り組み」基金の一括運用の開始(令和元年5月)に全ての基金の運用資金を一つにして、基金全体で運用商品を共有、と決められていることを始めて知りました。</p> <p>今回、広報10月号の詳しい“令和2年度決算＝豊中の財政状況”を拝見し、一般会計も黒字、特別会計、企業会計のすべてで黒字と報告されています。私はこれらの会計の黒字を、一括で運用資金にする前に、例えば国保、後期高齢者医療、介護保険などを毎年値上げすることなく、各事業の黒字を、1・2億円でもその事業に補填し、市民への負担を減らし、その後一括管理で運用するようにはしていただきたいと強く願います。</p> <p>今、国保、介護保険の滞納も豊中ではあり、それに職員が取り組んでいることも耳にしていますが、この黒字活用でこれから掛け金の値上げを抑えることで、市民一人一人の負担、職員の負担がなくなり、より一層</p>	<p>「豊中の財政状況」をご覧いただき、ありがとうございます。</p> <p>『債券運用戦略』は、市で取り組んでいるさまざまな政策目的のために設定している基金の運用手法についての考え方をお示したものであり、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険などで生じた単年度の黒字の活用とは直接関係がありませんが、いただいたご意見につきましては保険担当部局にお伝えさせていただきます。</p>

		<p>潤った財政が保たれるのではないのでしょうか。 利子収入を安定的、継続的にと 15,000 千円以上に固執することで、住民への負担を増やさないようにしていただきたいです。市民が安心して住んでよかったと心から思える豊中市の市政を強く望みます。</p>	
3	第3章 公金の運用に係る基本的な考え方	<p>公金管理の基本と優先順位について、提案の趣旨は分かりますが、これを判断するための、税理士や会計士など外部の専門家などの意見も参考にされているのでしょうか。それは何人で、どのような方々でしょうか。</p>	<p>外部の専門家の意見として、一人の学識経験者（地方財政・地方自治などを専門とする大学教授）よりいただいた助言を参考にして策定いたしました。</p>